

タイトル…『ファニーたい焼きトム29
トンカツ』

【第一幕】（約20分）

シーン1：たい焼きトムの店内

トム「フィッシュ？ノンノン！ビーフ！
いや、ポーク！トンカツ、イズ、ジャ
パニーズ・フード・キング！」

魚住「トンカツをたい焼きに入れるって
どういう発想ですか……」

トム「発想？ハートで感じるんだ、魚住！
トンカツのカリカリ、たい焼きのふわふ
わ、合わないわけがない！」

魚住「いや、普通に考えて無理じゃない
ですか？」

トム「おおっと、それは『試してから言
え』ってことだな？オーケー！焼くぜ！！」

（トム、豪快にたい焼き生地を流し込み、
巨大なトンカツを投入！）

魚住「いやいやいや！！厚み！！トンカツの自己主張がすごい！！」

トム「このビッグエネルギーを封印するのがオレの使命！」

（焼き上がったたい焼きを手に取り、食べる準備をする二人）

魚住「……絶対にヤバい気がする」

トム「じゃあ先に食べるぜ！」（一口ガブリ）

トム「うおおおおお！！」

魚住「え！？え！？どうしたんですか！？大丈夫ですか！？」

トム「うまさぎるうううう！！サクツとした衣が！ふわっとした生地が！ジュ

ワーツと広がる豚の旨味が！トンカツの脂が染み込んで、甘じょっぱい革命がここに！」

魚住「お、おお……テンションすごいですね……」

（魚住も恐る恐る一口食べる）

魚住「……」

トム「魚住？」

魚住「……やばい、美味しい……！」

トム「だろおおおお！！！」

【第二幕】（約20分）

シーン2：仕込みシーン

（大量のトンカツを揚げるトム。油がパチパチ弾ける）

魚住「もう完全にたい焼き屋の仕事じゃないですね、これ……」

トム「たい焼き屋だからこそ、挑戦するんだ！」（衣をパリッと割る）

魚住「うわぁ……肉汁が……反則級ですね……」

トム「見ろ、この美しさ！この肉厚！黄金色の衣！これがたい焼きの中に入るって、もう事件だろ！？」

（店の常連客が試食に訪れる）

客1「な、なにこれ！？たい焼きなのに……トンカツ！？でも美味しい！！！」

客2「食感がやばい！カリッとしてるのに、甘くてふわふわで……え、マジで天才？」

魚住「味の説明がカオスすぎる……」

【第三幕】（約20分）

シーン4：SNSで話題沸騰

（「#トンカツたい焼き」「#罪深いウマさ」などのタグがトレンドに）

（店の前に長蛇の列ができ、テレビ取材がやってくる）

レポーター「いま話題のたい焼き屋さん
にやってきました！トンカツたい焼
き……正直、意味が分かりません！！」

トム「意味なんて考えちゃダメ！食べる
だけ！！」

（レポーター、試食）

レポーター「！？これ……これ……！！
何ですか、この禁断のウマさは！！？」

トム「そう、それがトンカツたい焼きの
魅力！！」

（SNSがさらに盛り上がる中、ライバル登場）

【第四幕】（約15分）

シーン5：競争相手登場

（どら焼き店が「カツサンドどら焼き」を販売開始。商店街で大々的に宣伝）

どら焼き店主「ふわふわのどら焼きに、サクサクトンカツをサンド！甘じょっぱい禁断の味わい！」

トム「な、なにいい！？これは強敵の予感……！」

【第五幕】（約25分）

シーン6：決戦！たい焼きvsどら焼き

（商店街を巻き込んだ大試食会。来場者が投票で勝敗を決めることに）

（和菓子研究家が審査員として登場）

和菓子研究家「なにこれ！？たい焼きの外はカリッ、もちもち生地の中からジュワッと広がる豚の旨味！ソースの甘みが全体を包み込み、まるで和洋折衷の究極のハーモニー！」

（続いてカツサンドどら焼きを試食）

和菓子研究家「ふわふわのどら焼き生地にサンドされたトンカツ！餡の甘みと豚のコクが溶け合い……これはこれで素晴らしい！」

（一般客の感想も激増）

客3「カツサンドどら焼き……甘くてしよっぱくて、クセになる……！」

客4「でも、たい焼きの一体感がやばい！トンカツが生地に包まれてるから、まるで一つの料理みたい！」

（結果発表！たい焼きが僅差で勝利！）

トム「 Weiner！トンカツたい焼き、バンザイ！」

魚住「ギリギリでしたね……！」

（和菓子店主、悔しがりながらも認める）

和菓子店主「まいった！トンカツたい焼き、恐るべし！」

（トムと魚住、次なる奇抜たい焼きを考案しながら、店の未来を誓う）

トム「次は……カレー！？いや、寿司！？
ワクワクが止まらねえ！！」

魚住「はぁ……でも、やるしかないですね！」

（エネルギーッシュに幕が閉じる）